

まちづくり協議会 主催イベント実施結果

- 旧田中邸を活用した「大正琴ミニコンサート・語り部ライブ」「雛の茶店」** (稲本保彦・阪本光枝)

市所有の旧田中邸の将来の活用に向けて、8日に雛の茶店(お茶と和菓子のもてなしと茶道教室)、9日に大正琴のコンサート(琴修会富田林教室)語り部ライブ(池田清彦氏)を実施しました。来場者数は、8日、9日とも900人、合計1,800人に上りました。石原ガレージでは、メンバーによる餅つき(お餅と煎茶のふるまい)を行い、用意した餅は両日とも完売しました。
- 古民家での土産物販売「雛のあじ処」** (川井貴也)

新たに考案した土産物を販売するお店を本町田中邸で出させていただきました。8日には、いち梅さんのお寿司のお弁当、朝日屋さん(富田林市商業連合会)のみたらし団子とあゆ甘露煮など、9日には、柏屋葛城堂さんの蒸し饅頭、お汁粉が販売されました。来客数は、2日間で約400人へのほり、和装の販売員、手作りの暖簾が古民家のお店の雰囲気と調和していると好評でした。
- 駅から寺内町まで歴史的スポット巡る「スタンプラリー」「ケータイ de 俳句」** (芦田真理・佐藤康平)

駅前の空き店舗をイベントの案内センターを兼ねた起終着点として活用するとともに、寺内町に5箇所、寺内町以外に4箇所のポイントを設け、スタンプラリーを実施しました。各商店会さんから提供いただいた賞品や石製の篆刻のスタンプを目指して、2日間で1,600人以上の方が完走しました。一方、携帯電話の機能を利用した俳句と写真の投稿は2件に留まりました。また、ポイントのスタッフとして多くの方のご協力をいただきました。
- まちなみを彩る「パナー・のれんアート」** (中林朱美)

布(天竺木綿など)に墨汁やロウケツ染で文字や絵を描き、ロープ等を使って20箇所程度に吊るしました。実施場所：富田林駅、本町通りゲート、本町公園の板橋、石原ガレージ(餅つき)、旧田中邸、terra、中林邸、上野呉服店、勝間家住宅、工房飛鳥、奥谷家、中央通りゲート、中央通りレトロ博物館。その他、まちなみに調和した装飾なども設置しました。
- 駅前の顔づくりに向けた「河内杉による壁面修景」** (阪本洋史・ネオジオ)

本町商店会入口右手にある倉庫の看板等をはずし、外観を杉丸太等による和風のイメージに修景しました。材料の杉は、大阪府森林組合から無償で提供を受けました。また、メンバーのボランティアによる搬入・看板撤去、専門家や大工さんにアドバイスしてもらいながらの作業など、手作りを実践しました。イベント当日(8日)には、杉板ペンキ塗りのワークショップも行いました。(参加者15名)



【参加者アンケート結果概要】
 ●参加者は6割が河内地域の方で、6割以上がリピーター ●9割以上の方がイベントを「楽しかった」と評価
 ●約8割の方が「歴史的なまちなみや建物を残してほしい」、4割以上が「駅前を寺内町にふさわしい雰囲気」に「食事やお茶、休憩のできる場所がほしい」と回答されました。

■編集後記■
 まちづくりニュースを通じ、駅南地区協議会の活動をわかりやすく地域の皆様にお知らせできるよう、広報担当として努めてまいります。協議会活動や本紙へのご意見・ご感想等がありましたら、お気軽に記載の連絡先までお寄せ下さい。広報担当 桑平麻由子(協議会理事兼会計)

四季折々に開催する『寺内町四季物語二〇〇八』では、準備や当日の運営スタッフを随時募集しています！
 ご関心のある方は事務局、協議会役員、もしくは下記連絡先までご連絡下さい。
 ●事務局：川井貴也、芦田真理 ●連絡先：080-5701-0367

富田林 じないまち界隈 第2号

富田林駅南地区まちづくり協議会 第2回総会を開催しました！

平成20年度活動のスタートとなる、第2回総会が2008年5月29日(木)19時、じないまち交流館2階にて開催されました。来賓に富田林市長、協議会顧問を迎え、役員会員など計38名が出席しました。

富田林駅南地区まちづくり協議会は、寺内町を含む富田林駅南地区において、地域の住民や商業者を中心となり、そこに暮らす人々、地域で活動する団体、行政などが連携し、歴史・文化と調和した「賑わい」と「おちつきのあるまちづくり」を推進することを目的として、平成20年1月23日に会を設立し、まちづくり活動を進めています。【2・3】



第2回総会の様子

- 【住民意向アンケート項目】**
- 寺内町四季物語二〇〇八・雛めぐりについて
 - 問1 イベントの印象
 - 問2 今後のイベント
 - 問3 イベントの感想
 - 富田林駅南地区のまちづくりに関して
 - 問4 協議会の認知
 - 問5 まちの印象
 - 問6 今後の寺内町のあり方
 - 問7 協議会への期待
 - 問8 協議会への意見
 - 問9 協議会への参加意向
 - 問10 プロフィール

《アンケート調査実施のお知らせ》
 本年度、協議会で住民意向調査を実施することが総会で承認されました。アンケートでは、寺内町四季物語二〇〇八、駅南地区のまちづくり等についてお聞きしました。みなさまのご協力、ありがとうございました！！

発行・編集／富田林駅南地区まちづくり協議会 (発行人：会長 橋川光司)
 わがまちづくりはみんなの手で (駅南地区のまちづくりを一緒に考えませんか?)
 ●ご関心のある方(ニュースに関する意見等は左記連絡先まで) ●連絡先：事務局(富田林駅南地区まちづくり協議会) 事務局 新田 洋史 080-5701-0367

「寺内町四季物語二〇〇八」(3月8日・9日) 大盛況のうちに終えました！
 じないまち実行委員会による「じないまち雛めぐり」と共催し、より規模を拡大して実施した協議会主催イベント「寺内町四季物語二〇〇八」は、天候にも恵まれ、8日には約6,000人、9日に約5,000人、計1万1,000人の方がお越しになりました。皆様のご協力、ご理解の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。この試行プロジェクトの成果を、20年度から本格化する協議会活動に活かしていきたいと思っております。【4】

1つの委員会、3つの部会とは？

商店街にぎわい部会

目的
 駅前顔の顔である駅前から、寺内町を結ぶ商店街の衰退・空洞化に歯止めをかける。まちの活性化に資するまちなみづくり、にぎわいづくりを進めます。

活動内容
 * 商店街の統一パナーの設置、駅前商店街のフアサード整備、
 * 駅前商店街のフアサード整備、
 * 空き店舗活用などの検討 など

旧田中邸活用部会

目的
 市所有の旧田中邸について、地域拠点施設、観光拠点施設など将来の活用方法や整備について検討を進めます。

活動内容
 * 今年3月のような試行プロジェクトの実施
 * 勉強会、見学会の開催
 * 活用内容、運営管理についての検討 など

四季物語部会

目的
 寺内町四季物語の市内における周知、広域的な集客、リピーターの確保などにより、地域の活性化につなげ、四季ごとにイベントを行う場所として広く認知してもらいます。

活動内容
 * 四季折々のイベント寺内町四季物語の開催
 * 寺内町四季物語開催を通じた関連団体との連携強化と体制づくり

リーダー
 川井 貴也 (協議会事務局次長)
 商業連合会、商店街活動と色々とずさわってきましたが、これといって特効薬もなく、エネルギーの割には成果が出にくい状況が長く続くなか、国土交通省の施策で郊外型より中心の商業の活性化をこれから目指すという方針が出され、富田林駅南地区もこれがラストチャンスという気持ちで取り組み、このチャンスに乗り遅れないよう、富田林駅南地区商業者の希望となるような活動をしていきたいと思っております。今後ともご協力、ご指導賜りたく存じます。

サブリーダー
 芦田 真理 (協議会事務局次長)
 金谷 義彦 (駅前大通り商店会会長)
 中林 成悟 (協議会理事)

部長
 稲本 保彦 (協議会理事)
 今年3月に行われました旧田中邸関連の催しとして、もちつき、雛かざり、語り部、大正琴コンサート、お茶会等催されましたが、多勢の方々来場され盛況でした。まだまだ建物をはじめ、人、運営等多くの問題がありますが、スタッフ一同協力して催しを通してよりよいまちづくりに協力していきたいと思っております。

副部長
 京谷 明 (毛入谷地区町総代)
 阪本 光枝 (協議会副会長)
 西野 元靖 (協議会理事)

リーダー
 阪本 光枝 (協議会副会長)
 どうすれば？
 静かに静かに佇むこの町が、より輝き、いきいきとした表情で私達を包んでくれるのでしょうか。
 四季物語部会は、昔の人々から伝えたい大切な歴史、文化を敬い、愛する思いを持って、何が出来るのかをもう一度考え、力を合わせ、実践したいと望みます。

サブリーダー
 芦田 真理 (協議会事務局次長)
 川井 貴也 (協議会事務局次長)
 桑平 麻由子 (協議会理事兼会計)
 佐藤 康平 (協議会副会長)
 中林 朱美 (協議会副会長)

企画・広報委員会

企画広報委員会は、3つの部会をとりまとめ、協議会全体の企画、調整、広報活動を行い、まちづくり活動を推進する委員会です。

統括リーダー 川井 貴也 (協議会事務局次長)
 地域担当リーダー 神谷 光雄 (協議会副会長)
 桑平 麻由子 (協議会理事兼会計)
 阪本 洋史 (協議会理事)

富田林駅南地区まちづくり協議会 第2回総会

橋川光司会長の挨拶
 会をはじめに、会長より「本年度から、本格的な協議会活動が始まる。寺内町は静かな環境、まちなみの整備等、駅前では駅前の交通環境整備、そして各商店街の活性化という、それぞれの地区で違ったことを目的としており、話し合いを進める中で衝突するところもあると思うが、そこは忌憚なく意見を戦わせ、より良いまちづくりを進めていきたい」という20年度に向けた意気込みが表明されました。

富田林市長の挨拶
 来賓を代表して富田林市長、多田利喜様からは、自身が、選挙公約として掲げており、就任以来、最重要政策として鋭意、取り組んでいる駅南地区のハード整備の進捗状況について、「駅前から寺内町へのアクセス道路である、本町通り、中央通りの美装化事業を、3年をかけて進めており、駅南広場拡張事業についても、いよいよ土地建物の買収の時期に来ており、現在用地、物件の鑑定を終え、詳細な協議を進めている。さらに、楠公通りの一方通行化による歩道整備についても、府警本部、公安委員会、バス・タクシーなどの関係機関と協議を精力的に進めている。本年は思い切った問題解決に取り組んでいく、大変重要な一年であり、皆様方には、ご協力をお願いしたい。駅南地区のハード整備を進むタイムリーな時期に、活動を本格化される富田林駅南地区まちづくり協議会に期待している」との挨拶を頂きました。

